

赤い羽根共同募金助成金

令和５年度公募助成事業　募集要項

1. 目　的

　　大仙市共同募金委員会では、市内で活動している社会福法人、ＮＰＯ法人、法人格を持たない福祉団体、ボランティア団体を対象に、地域福祉活動を推進する事業に対し助成を行います。

　　＜基本的な考え方＞

　　　●福祉のまちづくりを推進する事業であることが明確な活動

　　　●企画が地域の課題を解決するために有効な活動

　　　●地域の住民や団体等の連携を深め、協働で取り組む活動

1. 対　象

以下の事項にすべて該当することとします。

（１）団体

　　　　①大仙市内に活動の拠点を置く、社会福祉法人、ＮＰＯ法人、法人格を

持たない福祉団体、ボランティア団体

②共同募金の趣旨について理解し、協力する団体

（２）助成事業

　　　①地域住民の参加、協力により独自性をもって福祉課題の解決に取り組む

活動で、別表１に該当する事業

　　　②令和５年４月１日から令和６年３月３１日までに終了する事業

1. 助成の種類と金額

助成金の交付金額は、助成金の枠内で次のとおりとします。尚、対象となる経費の区分については、別表２のとおりです。

（１）大仙市全域を対象とした事業は、１団体につき１事業のみとし、助成の

上限を１０万円までとする。

（２）活動する地域を限定した事業は、１団体につき１事業のみとし、助成の

上限を５万円までとする。

４．助成の対象と認められない事業

　　　①構成員の互助共済とみなされるもの

　　　②営利目的、政治や宗教等の活動のための手段として行われるもの

　　　③国または地方公共団体が設置または運営するもの

　　　④本公募助成事業以外の補助金等収入がすでに決定し、それにより当該活動

　　　　が実施できるもの

⑤その他適当と認められないもの

５．申請方法

指定の申請書に必要事項を記入し、各地域の大仙市共同募金委員会（大仙市社会福祉協議会各支所）へ提出して下さい。

1. 提出書類
   1. 共同募金助成金申請書（様式第１号）
   2. 団体の会則
   3. 団体の事業計画、収支予算の状況が分かる書類（様式は任意）

（２）申込期間

　　　 令和５年１月１６日（月）～２月１６日（木）

（３）審査・決定

　　　　令和５年２月下旬（予定）の大仙市共同募金委員会審査委員会で審査の

上、結果を各申請団体へ通知いたします。尚、審査委員会の際には各申請団

体より、１名以上出席いただき、申請事業の説明（５分程度）をしていただ

くことになっておりますので、ご承知おきください。

　※助成金の公募枠には限りがありますので、申請団体が多数の場合は助成

　　金の減額やまたは決定にならない場合があります。

　　　　※令和４年度に助成を受けている団体は、今回は申請はできません。

６．お問合せ先

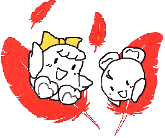
　　　〒０１４－００２７　大仙市大曲通町１番14号　大仙市健康福祉会館３階

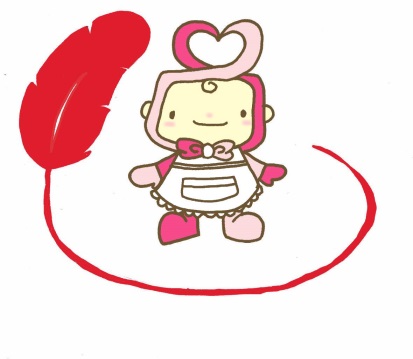
　　　　大仙市共同募金委員会（社会福祉法人大仙市社会福祉協議会内）

　　　　　　電　話　０１８７－６３－０２７７

ＦＡＸ　０１８７－６２－８００８

Ｅメールアドレス　[daisen-shakyo@w9.dion.ne.jp](mailto:daisen-shakyo@w9.dion.ne.jp)





（様式第１号）

令和５年　　月　　日

令和５年度　共同募金公募助成事業申請書

　大仙市共同募金委員会

　会　長　佐　藤　　力　様

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 団体名 |  | 代表者名 | 印 |
| 住　所 | 大仙市 | | |
| 電　話 |  | ＦＡＸ |  |

下記のとおり、令和５年度公募助成事業を申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 |  | |
| 事業概要 | 目　的 |  |
| 実施時期  及び場所 |  |
| 実施内容 |  |
| 期待される効果 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 助成希望額 | 円 |

※助成を受けようとする事業分の収支予算を記入してください。

（団体全体の収支予算ではありません。）

【収　入】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 金　額 | 説　明 |
| 公募助成金 |  |  |
| 自己資金 |  |  |
| 参加者負担金 |  |  |
| その他の資金 |  |  |
|  |  |  |
| 合　計 |  |  |

【支　出】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 金　額 | 説　明 |
| １． |  |  |
| ２． |  |  |
| ３． |  |  |
| ４． |  |  |
| ５． |  |  |
| ６． |  |  |
| 合　計 |  |  |

※収入支出は同額にしてください。

※支出に関しては、別表２を参照して下さい。

（第３条関係）

別表１（助成対象事業一覧）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 事　業　例 |
| １ | 高齢者福祉に関する事業 | ・高齢者を対象としたサロン活動や昼食会  ・高齢者の見守り活動  （見守りに関する必要備品、ジャンパー、ステッカー、見守り  マップ作成、見守り啓発パンフレット作成等）  ・定年後の男性高齢者等の自立生活を応援する「男性料理教室」  など |
| ２ | 障がい児・者福祉  に関すること | ・障がい者等への生活情報提供事業  　 （買い物マップ作成、バリアフリーマップ作成等）  ・障がい者等への就労支援に関する事業  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など |
| ３ | 児童・青少年福祉に関すること | ・青少年健全育成に関する活動（犯罪防止に関すること、健全  育成に関すること等）  ・悩みや不安を抱える子ども達のフリースクール運営  ・こども食堂の運営  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など |
| ４ | ボランティア育成  に関すること | ・ボランティア団体等の研修会  ・新規ボランティア団体の立ち上げに係わる経費  ・除雪ボランティア活動団体への支援  ・送迎サービスボランティア活動団体への支援  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など |
| ５ | 住民全般の福祉に関すること | ・地域住民を主体としたバリアフリー啓発活動や研修会  ・地域の会館等を活用した自主的で定例的なサロン活動  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など |

（第６条関係）

別表２（助成金申請にかかわる支出項目の取り扱い基準）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 説　明 | 例 |
| １ | 消耗品費 | 一時的に消費し、又は数回により利用できなくなる物品 | 文房具、用紙、紙コップ、紙皿、カセット、フィルム等 |
| ２ | 備品費 | 比較的長期に使用できる器具、備品 | ラジカセ、ポット、カメラ、机等 |
| ３ | 材料費 | 行事などの参加者及び講師が使用する材料費等 | 工芸、手芸等の材料費、食材料代等 |
| ４ | 諸謝金  (講師謝礼等) | 研修・行事のために招いた講師に対する謝礼金等 | 講演、アトラクションへの謝礼金等 |
| ５ | 印刷費 | 関係資料等の印刷及び製本代 | チラシ・パンフレット・行事案内文書等の印刷代 |
| ６ | 広報費 | 広報紙などの印刷製本費 |  |
| ７ | 通信運搬費 | 切手代、電話代などの通信・運搬にかかる費用 |  |
| ８ | 研修費 | 研修会・セミナーの参加負担金 |  |
| ９ | 使用料 | 行事・会議等会場使用料 | 集会所・コミュニティーセンター等使用料 |
| 10 | 賃貸料 | 行事用物品等のレンタル料 | テント・機器のレンタル料  レンタカー代等 |
| 11 | 会議費 | 会議における茶菓代等 | 会議参加者に配る茶菓代等 |
| 12 | 食料費 | 行事における茶菓代等  （スタッフのみの場合は除く） | 行事参加者に配る茶菓子代 |
| 13 | 保険料 | 損害（賠償）保険料 | ボランティア保険料、行事用保険料等 |
| 14 | 修繕費 | 備品修理代 | 備品の修理 |
| 15 | 手数料 | 専門的な知識や技術を要する役務に対する費用 | 検便手数料等 |
| 16 | 雑費 | 上記のどれにも当てはまらないもの |  |